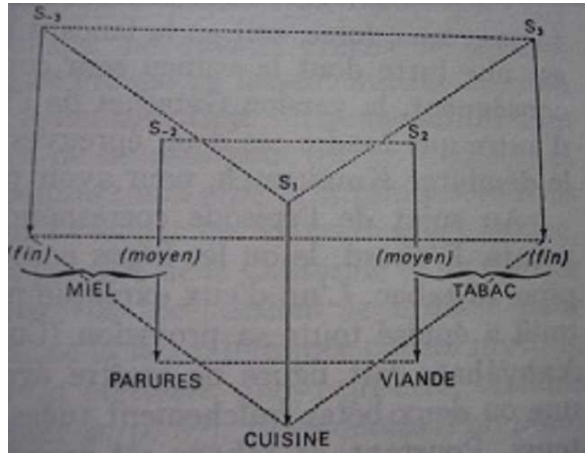
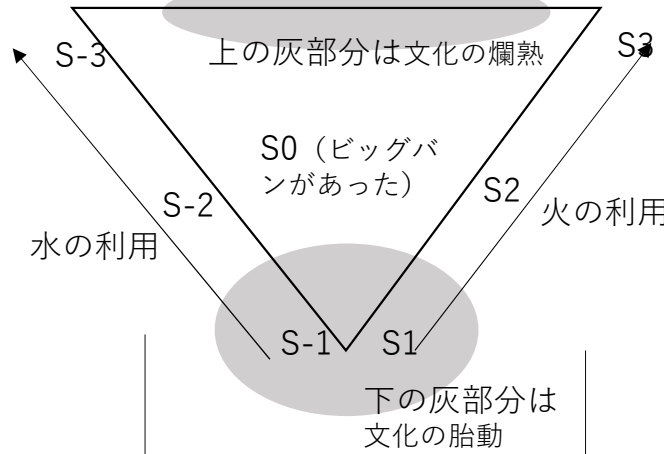


# 神話システムの骨格

構造主義の視点で解析 1/3



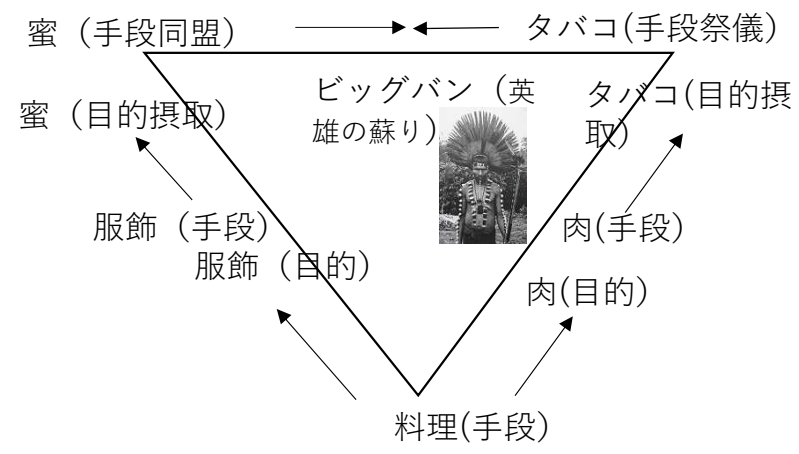
## 上三角は思想



S=システムは思想  
 新大陸先住民、南北で共通の神話思想  
 神話骨格の上部、「メタ神話」

- 1 S0ビッグバンを（部族民解釈で）設定した（原図にない）
- 2 S1 (-1) はコトの発端（火の取得、水の形成）
- 3 S2(-2) は発展（S1を手段として目的S2が取得される）
- 4 S3(-3)はS2を手段として取得される

## 下三角は形式



神話素材が発現する位置、  
 素材の形態で変容はあるが意味  
 (proprietes) は同等、  
 神話骨格の下部、表現としての「神話」  
 以下、南米神話を当てはめる；

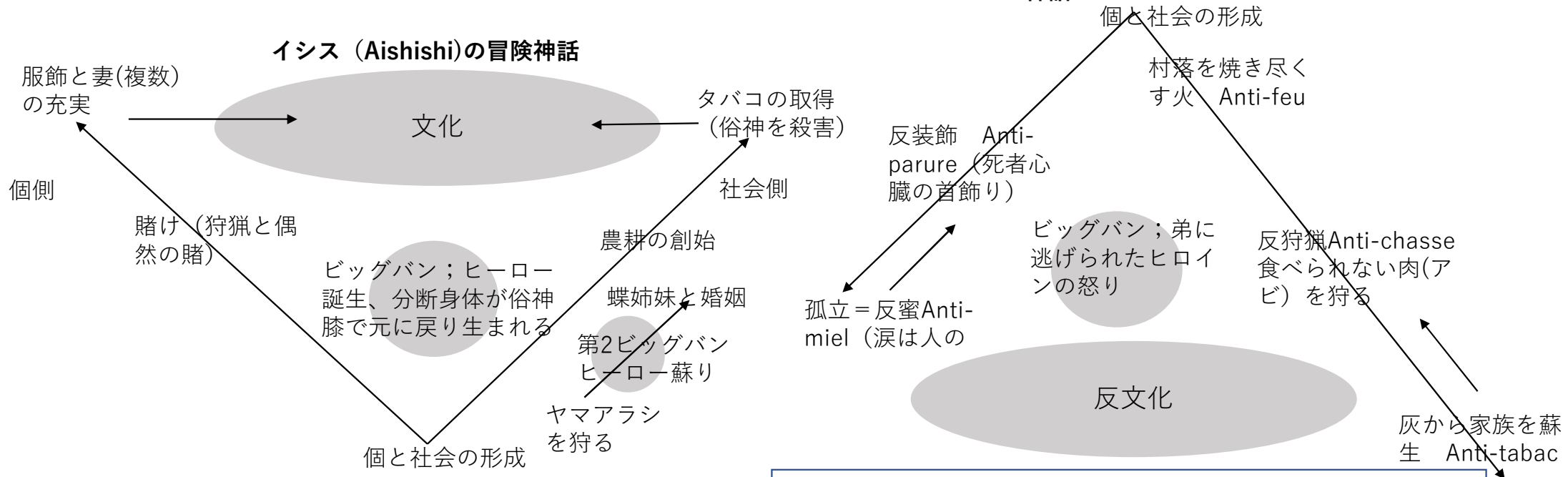
- 1 S0ビッグバンで英雄（写真ゴロロ族酋長）蘇り（M1神話など）
- 2 文化胎動は料理手法の獲得（火、水、狩り道具）
- 3 料理を手段に目的の肉を得る
- 4 肉はより上位文化のタバコを得る手段となる。タバコは同時に上位文化（爛熟）を得る手段でもある。
- 5 同様の行程が水を巡り展開する

上図(Armature du systeme incluant le mythe de reference神話システムの骨格、裸の男87頁)

- 1 図は ではない、 である
- 2 矢線が2本上から下を示す
- 3 上三角のSはシステム、下三角のcuisine, viandeなどは神話の素材 (protagonistes) である。

# 神話システムの骨格

構造主義の視点で解析 2/3



## イシス神話とアビ神話 1

- 1 火と水による文化発展、この概念は希薄
- 2 個と社会の形成とした (部族民通信の解釈)
- 3 2の潮流には形成方向 (ベクトル) が見られ、3段階目で文化 (反文化) に閉塞する (イシス)
- 4 イシス神話は文化形成に向かう、アビ女では文化否定に向かう

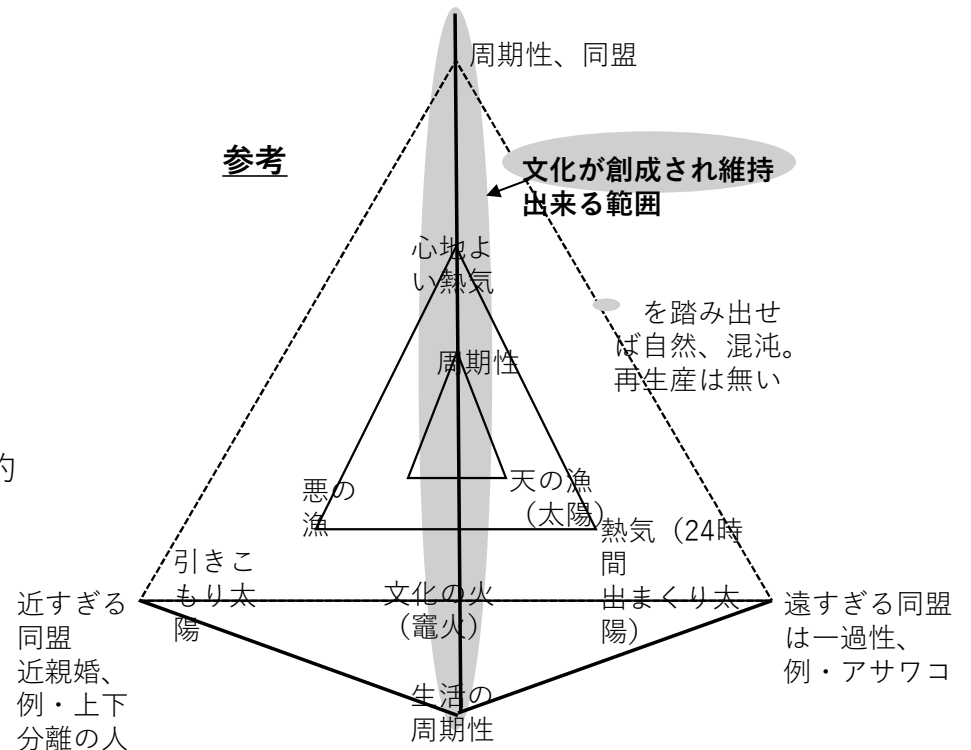
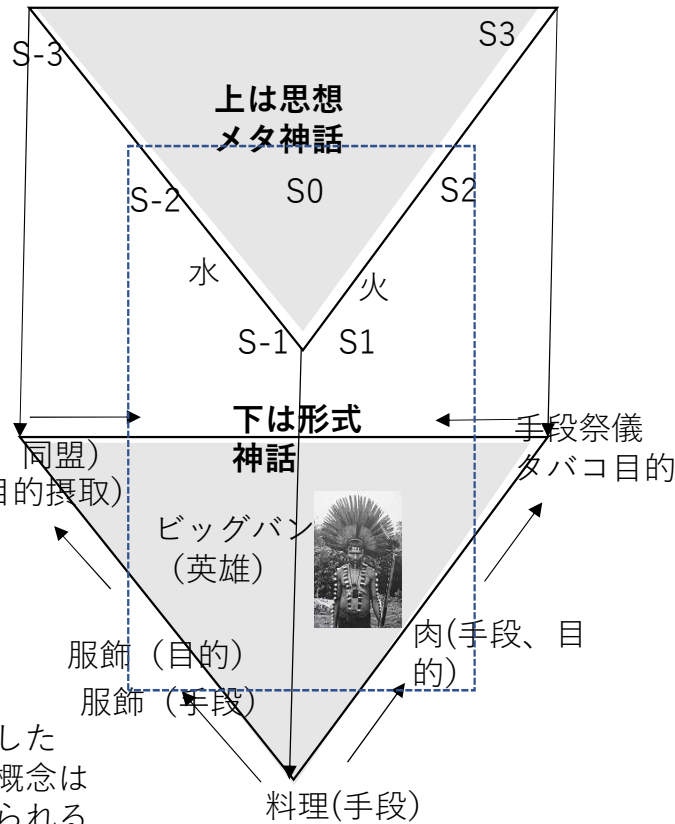
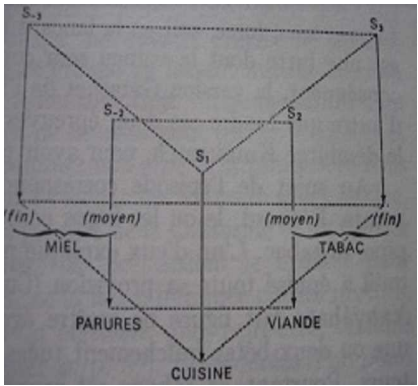
## イシス神話とアビ神話 2

- 1 個の充実と社会形成の方向性を文化に向ける (イシス)。
- 2 個と社会のベクトルを反文化に向ける。非装飾、個の孤立、村落の破壊、反狩猟など。
- 3 反文化は三角に閉ざされず、灰 (お骨) から死者を蘇らせる、息子を閉じこめるすなど、旧社会への回帰とベクトルの反転が明確である (2,3はアビ)。

# 神話システムの骨格

構造主義の視点で解析 3/3

- 1 「食事作法の起源」掲載図（右）を参考に置いた
- 2 システム解析図（左）は文化の弁証法的発展
- 3 食事…（右）は分析思考からの文化の説明、共時的条件



L'Origine des Manieres de Table  
食事作法の起源  
を説明する (117頁図)

## 神話システム解析

Armature du systeme incluant le mythe de reference 神話システム 蜜 (手段、同盟) 蜜 (目的) 採取の骨格、裸の男87頁

- 1 下三角は南米神話を規範とした
- 2 北米神話には「火と水」の概念は希薄ながら、2方向発展は認められる
- 3 アビ女神話のベクトルは反転（反文化に向かう）しているが、これも下三角の一形式とされる（反転）
- 4 破線の四角内が文化定位置